

令和8年 第2回 定例教育委員会 会議録

日 時	令和8年2月27日（金） 14時00分～15時15分
場 所	阪南市防災コミュニティセンター 6階多目的室
出席者	<p>〈教育委員会〉</p> <p>教 育 長 中 野 泰 宏 教育長職務代理者 八 田 三 紀 委 員 辻 雅 之 委 員 水 島 浩 子 委 員 柴 崎 一 也</p> <p>〈事務局職員〉</p> <p>生涯学習部長 松 下 芳 伸 生涯学習部副理事 向 井 説 行 副理事兼生涯学習推進室長 木 村 浩 之 教育総務課長 堀 野 純 司 学校給食センター所長 寺 井 浩 之 学校教育課長 石 原 慎 学校教育課長代理 両 口 通 寛 生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理 秋 山 秀 子</p>
事務局	教育総務課長代理 永 井 隆 祐
書記	教育総務課長代理 永 井 隆 祐
傍聴者	なし

会議の要旨

(教育長)

令和8年第2回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に辻委員を指名する。

◆承認事項第1号「令和8年第1回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第1号「令和8年第1回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、案のとおり承認されたものとする。

◆協議事項第1号「児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(案)について」(生涯学習推進室)

(教育長)

協議事項第1号「児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うこども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(案)について」生涯学習推進室の説明を求める。

(生涯学習推進室長)

児童福祉法等の一部改正に伴い、整理条例を制定することで、市の関係条例を一括して改正することとしている。その整理条例において、生涯学習推進室所管の阪南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を改正したいので、協議をお願いするものである。なお、施行期日は、公布の日である。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(柴崎委員)

放課後児童支援員の要件の一つに、保育士資格を有する者とある。その保育士に含まれる者として、これまでの国家戦略特別区域限定保育士に加えて、今回の

改正において、地域限定保育士も含まれることになっている。国家戦略特別区域限定保育士と地域限定保育士との違いは何か。また、本市の放課後児童支援員でこれらの保育士はいるのか。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

地域限定保育士制度は、国家戦略特別区域法に基づく特例措置として、これまで大阪府などにおいて実施してきた制度で、国家戦略特別区域限定保育士と呼ばれてきた。当該制度については、令和7年10月より一般制度化され、地域限定保育士と呼ばれることとなった。したがって、国家戦略特別区域限定保育士と地域限定保育士は同じであり、保育士や放課後児童支援員不足を解消することを目的とした制度改正に条例を合わせるものである。

現時点において、本市では地域限定保育士の要件で放課後児童支援員となっている者はいないが、要件緩和が一般制度化されることに伴い、放課後児童支援員不足が解消されることを期待したい。

(柴崎委員)

要件を緩和し、幅広い方に放課後児童支援員を担っていただく趣旨であると理解した。一方で、ニュースなどで支援員による不祥事なども聞く。採用に当たっては、そのあたりのバランスに留意してもらいたい。

(教育長)

他に、意見、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

協議事項第1号について、案のとおり協議が整ったものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和8年1月1日から1月31日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した6件について、報告する。

1件目は、和歌山大学教育学部主催「2025年度和歌山大学教育学部共同研究事業」である。令和8年2月7日、和歌山大学において、教育関係者を対象に、大学教員や公立学校の教員等による共同研究事業についての成果報告会が開催された。

2件目は、NPO法人いずみ教師力向上ネット主催「TOS S春の教師力UPフェス」である。令和8年3月から5月にかけて全5回、和泉市コミュニティセンターでの対面又はオンライン形式で、教員等を対象に、教材活用術や授業力向上などをテーマにしたセミナーが開催される。

3件目は、大阪府立青少年海洋センター主催「海洋センタークラブ事業」である。令和8年5月から令和9年3月までの年間を通じて、同センターにおいて、クラブに登録した幼児から高校3年生までの子どもたちを対象に、マリンスポーツや生物観察等、自然の中で様々なスポーツ活動や野外活動が行われる。

4件目は、同じく大阪府立青少年海洋センター主催「海洋センターキャンプ2026」である。令和8年4月19日から7月26日にかけて、同センターにおいて、一般の方を対象に、マリンスポーツや生物観察等、海辺での野外活動イベントが開催される。

5件目は、泉州市民バンドフェスティバル2026主催「泉州市民バンドフェスティバル2026」である。令和8年4月12日、岸和田市文化会館マドカホールにおいて、一般の方を対象に、泉州地域における市民吹奏楽団体による合同演奏会が開催される。

6件目は、ボックスゼロ主催「キッズマネースクール はじめてのお仕事体験教室」である。令和8年3月1日、エブノ泉の森ホールにおいて、4歳から10歳までの子どもたちとその保護者を対象に、お金の価値・大切さを伝える体験型イベントや、お小遣いの考え方・付き合い方講座が開催される。

これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理人)

1件目の「2025年度和歌山大学教育学部共同研究事業」について、市内小学校の先生方も一緒に研究したことがあったが、現在も共同研究されているのか。

(教育長)

現在は、和歌山大学教育学部とは、共同研究は行っていない。

他に、質問等はないか。

(柴崎委員)

3件目の「海洋センタークラブ事業」について、例えば、「海洋教育」や「はんなん海の学校」などの1コマとして利用することはできないか。

(学校教育課長)

海洋教育において、小学5年生が青少年海洋センターで体験学習を行っている。また、ウミホテルの観察などで青少年海洋センターと連携している小学校もある。

(柴崎委員)

教育委員会として後援名義許可をしていることもある。青少年海洋センターと連携することで、海洋教育などの展開が広がっていくのではないか。

(教育長)

青少年海洋センターとの連携においては、府の施設であることもあり、日程調整が難しい面がある。また、青少年海洋センターだけではなく、きしわだ自然資料館や水産技術センターに協力してもらっているケースもある。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第2号「令和7年度第2回阪南市いじめ問題対策連絡協議会の会議録について」(学校教育課)

(教育長)

報告事項第2号「令和7年度第2回阪南市いじめ問題対策連絡協議会の会議録について」学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長代理)

令和7年12月17日に開催した、令和7年度第2回阪南市いじめ問題対策連絡協議会の会議録について報告する。案件は、(1) 令和6年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果より、いじめの状況について、(2) この間、各機関が対応したいじめや子どもに係る事案等について、(3) 対応が困難化、複雑化しているいじめ事案、またはその特徴について、(4) 関係機関との連携が効果的だと考えるいじめ事案等について、(5) その他、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

弁護士相談をする場合、1人の方に相談しているのか。

(学校教育課長代理)

基本的には、市の顧問弁護士へ相談している。また、いじめ防止対策委員会の委員として弁護士の方に入らせていただいております。緊急ではないが対応が長期化している案件については、いじめ防止対策委員会の場で相談している。また、大阪府教育庁において、緊急支援チームを設けており、市町村から要請すると、緊急支援チームにいるスクールロイヤーへ相談できる。このように、3種類の方法で弁護士相談することができる状況である。

(水島委員)

弁護士が入ることで対応はスムーズになっているか。また、学校や先生方の負担は軽減されているか。

(学校教育課長)

学校としては、法に則った対応を指示いただけるので、安心感はある。後ろ盾にはなっている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(辻委員)

コミュニケーション力について触れている部分があるが、SNS等でやり取りをしていると文字ばかりで、感情が読み取りづらいという難しさがある。また、語彙力が低下していることも指摘されている。国語はもちろん、学校の学習で身に付けていく必要があるものが多い。様々な学習や取組で、コミュニケーション力、語彙力を高めて欲しいと思う。

(学校教育課長)

情報活用能力、言語能力ともに身に付けていかないといけない。言語能力を育成するモデル校もあるため、その成果を共有し、子どもたちに必要となる力を付けていきたい。

(辻委員)

全てを言葉で表現して理解しないといけないとは思わない。ある程度の会話で、内容を理解したり、言葉の裏にあるものを感じ取ったりする力も必要だと思う。会議の場の空気感を感じる力も必要になってくる。オンラインであれば、どうしてもその空気感を感じる事が難しい。様々な力が必要であると感じる。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

会議録11ページにおいて、「虐待以外にも、福祉関係の関係機関へつなぐ」という記載があるが、どのようなことか。

(学校教育課長代理)

一例となるが、生活面で困っている家庭があった場合、市の行政サービスや手当の対象であっても、それを知らないために支援を受けていない方がいる。児童生徒や保護者から教員が把握し、スクールソーシャルワーカー等へ相談することで、福祉的な支援につながったケースがあった。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(柴崎委員)

会議録4ページにおいて、いじめに関するアンケートの回数を増やしていることは、良いことだと思う。重大な事態が発生した後になって、アンケートに書いていた内容を見落としていたということがないよう、丁寧にアンケートの内容を確認してもらいたい。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「令和8年度阪南市学校園教育基本方針（案）について」（学校教育課）

(教育長)

その他案件①「令和8年度阪南市学校園教育基本方針(案)」について学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長)

今回の会議では「令和8年度阪南市学校園教育基本方針(案)」を提示し、教育委員の皆様からいただいた意見をもとに、再度検討して次回の教育委員会議にて議決をいただく予定である。

主な変更点について、資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件②「教育委員会関連行事について」(各担当課)

(教育長)

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。各課の報告を求める。

※詳細は資料のとおり

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件③「教育委員会関連行事等の報告について」(各担当課)

(教育長)

その他案件③「教育委員会関連行事等の報告について」について、各課の報告を求める。

まず、初めに、1月25日に開催された「日本語発表会」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年1月25日、午後1時から午後4時まで、文化センター小ホールにて阪南市内で日本語を学習する外国人の方々による日本語発表会が開催された。外国人や指導者をはじめ、115人の方々が登場された。東鳥取公民館で日本語を指導する阪南市日本語クラブの方々が見守る中、25人の外国人の方々学習の成果を発表した。発表内容は、自己紹介や日本での生活、歌の発表など様々で、

緊張しながらも一生懸命に日本語で発表している姿が印象的であった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、1月26日に「株式会社阪南住宅から各小中学校にご寄附いただいた図書費」について、生涯学習部長の報告を求める。

(生涯学習部長)

株式会社阪南住宅から、各小中学校に図書購入費として、各校2万円、計24万円をご寄附いただいた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、2月5日に開催された「泉南地区PTA講演会兼阪南市PTA大会」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年2月5日、午後1時15分から午後4時まで、文化センター小ホールにおいて、泉南地区PTA講演会兼阪南市PTA大会を開催し、39人の参加があった。今年度は、泉南地区PTA協議会の幹事市が本市のため、泉南地区PTA協議会の講演会と合同で実施され、朝日小学校PTA、まい幼稚園PTAによる事例発表と講演会が行われた。

朝日小学校PTAからは、標準服リユース会や運動会で思いやりシートを設置するなどPTAの意見から学校行事をより良くするPTA活動をはじめ、連絡アプリを利用し、総会資料を配信するなど、負担軽減の工夫をしながら行うPTA活動の事例が発表された。

まい幼稚園PTAからは、遠足の付き添い、やぐら曳きの見守りなど子どもたちが安心して園生活を送れるように支えるPTA活動をはじめ、役員数の削減やチャットツールを活用するなど、一人ひとりの負担を減らす形でムリなく続けることができるPTA活動の事例が発表された。

講演会では、いのちの講演家として全国で多数講演されている岩崎順子さんによる「ほっとする人、誰ですか？ほっとする場所、どこですか？」をテーマにした講演が行われ、子どもとの関わり、日常やいのちの大切さについて考える貴重な機会となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、2月7日に開催された「令和7年度三師会・阪南市・阪南市教育委員会合同研究会」について、学校給食センターの報告を求める。

(学校給食センター所長)

令和8年2月7日、阪南市防災コミュニティセンターにおいて、「令和7年度三師会・阪南市・阪南市教育委員会 合同研究会」が開催され、医師会10名、歯科医師会13名、薬剤師会7名の出席があった。市からは、保健センター事業、介護・国民健康保険事業、子育て拠点再構築方針などの報告があり、教育委員会からは、昨年、改修した学校給食センターの概要について説明を行った。また、歯科医師会からは、薬剤関連顎骨壊死に対する医歯薬連携について話題提供があった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、2月8日に開催された「K I X泉州国際マラソン」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年2月8日午前9時から、泉佐野市において、「第33回K I X泉州国際マラソン」が開催された。今大会も前回大会と同様、りんくう公園内の特設周回コースを使用して開催された。当日は気温が低く、強風に加えて雪も舞うというランナーにとっては非常に過酷なコンディションとなったが、多くの選手が力走を見せた。フルマラソンでは男子413名、女子58名、ハーフマラソンでは男子219名、女子66名の計756名のランナーが見事に完走を果たした。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、2月11日に開催された「三井住友海上文化財団 ときめくひととき第1083回公演 加来徹&大萩康司 バリトン&ギターデュオ・リサイタル」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年2月11日、サラダホールにおいて「三井住友海上文化財団ときめくひととき第1083回公演」が開催された。ときめくひととき公演は、文化振興を支援することを目的とし、公益財団法人三井住友海上文化財団が助成を行うことで、廉価で質の高いコンサートを地域住民に提供するものである。

出演者は、マルチな才能で日本歌曲からオペラまで、幅広いジャンルで活躍中のバリトン歌手加来徹さんと国内外で多彩な活動を続ける日本を代表するクラシックギタリストの大萩康司さんで、バリトン歌手とクラシックギタリストのデュオという、ユニークな顔合わせによるものであった。当日は、午前11時から小ホールにおいて、未就学児とその保護者を対象に、無料の「子どもミニコンサート はじめてのクラシックコンサート」が約1時間行われ、33組66名の参加者があった。未就学児がクラシックコンサートに触れる機会が限られている中、本市の子どもたちにとって大変貴重で素晴らしい体験となった。午後2時から、大ホールで「加来徹&大萩康司 バリトン&ギターデュオ・リサイタル」が行われ、320名の観客のもと、約2時間、様々なジャンルの曲を披露いただき、大人から子どもまで誰もが楽しめる最高峰の演奏を体験することができた。コンサート終了後には、主演者から大ホールの音の響きは素晴らしいとお褒めの言葉をいただいた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(辻委員)

午前中の未就学児向けのイベントについて、未就学児であればなかなかじっとしていることは難しいと思うが、子どもたちの様子はどうか。子どもたちが初めてこういった体験をすることは素晴らしい。このようなイベントや企画が増えればいいと思う。

(生涯学習推進室長)

子ども1人につき、保護者も1人参加するイベントであったこともあり、立ち会った職員からは特にハプニングもなく、盛り上がったと聞いている。

(教育長)

子どもと保護者の配席を工夫したりしていたので、イベントが始まれば、走り回る子もいない状況であった。加来さんは、歌いながら子どもたちにしゃべりかけ、子どもの反応を見ながら、コミュニケーションを取っていただいていた。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、2月21日に実施された「スポーツ少年団清掃奉仕活動」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年2月21日、男里川の河川敷において、阪南市スポーツ少年団の清掃奉仕活動が実施された。本事業は、昨年度より活動場所を箱作公園から男里川河川敷へ変更し、今回で2回目の開催である。当日は天候にも恵まれ、総勢79名が参加した。団員と指導者・保護者が一丸となって除草作業やゴミ拾いに尽力し、河川敷の美化に大きく貢献することができた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他（教育長）

(教育長)

続いて、委員から何かないか。

(水島委員)

今年度は、インフルエンザによる臨時休業が非常に多かったが、授業への影響はどうか。

(学校教育課長)

教科の内容が年度内に終われるよう、工夫しているところである。

(教育長)

臨時休業が発生したとしても、給食後に帰宅させることを徹底させている。そのため、教員は午前中に家庭学習の教材を用意し、持って帰らせることができる。また、タブレットを活用して家庭学習をさせることもできる。

他に何かないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次回の令和8年第3回定例教育委員会は、令和8年3月27日金曜日午後2時から阪南市役所第2会議室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和8年第2回定例教育委員会を閉会する。